

兵庫県児童館連絡協議会（兵児連）の加入の利点について



兵庫県立こどもの館
R3

〔概要〕

全国児童館連合会(昭和50年発足。現一般財団法人児童健全育成財団:以下育成財団)の要請を受け、平成2年に設立。令和元年5月に発足した全国児童館連絡協議会(以下全児連)に所属。事務局は兵庫県立こどもの館内。

1 対象

県内の児童館及び児童センター等(以下児童館等)、並びに兵庫県企画県民部青少年課及び児童館等を設置する市町の児童館担当課

2 目的

県内の児童館等及び県市町児童館等担当課相互の連携による児童館等運営の充実と職員の資質向上を図ることを目的とする。

3 会費

- 県市町 年額 9,000円
- 児童館等 年額 5,000円(1館あたり)
- ※ 児童館等の会費については、R2より一律 5,000円に規約改正

4 現在の加入状況

県内21市町108館及び県立1館、計109館
※ 県内児童館を有する23市町のうち2市町を除く

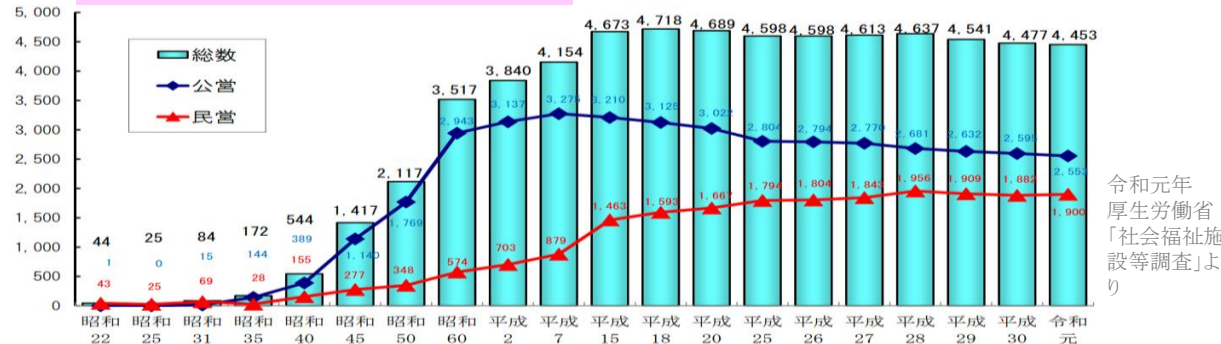
5 主な事業

- (1) 総会 年1回
 - 令和元・2年度 講演 育成財団理事長 鈴木一光 氏「健全育成と児童館ガイドライン」
 - 令和3年度 講演 建築家 安藤忠雄 氏「夢を持って生きる」オンライン開催
- (2) 役員会 年2回程度(勉強会、施設見学含む)
 - 令和2年度開催地：三木市、西脇市
- (3) 児童厚生員等研修会
- (4) 情報交流会
- (5) 国への要望、意見書

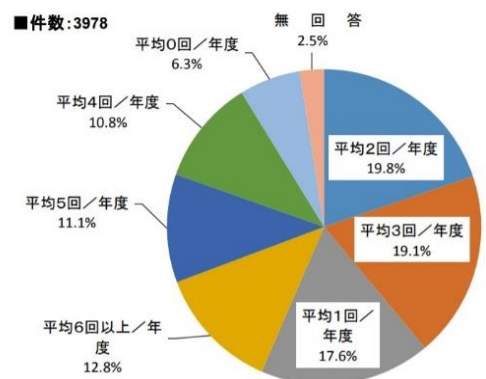
加入の主な利点

| | | 会員 | 非会員 |
|-------------------|--|----------------------------|------------------|
| 「研修」 | ①児童厚生員等研修会(県児連主催) →児童厚生二級指導員資格の取得が可能 ○日程 全13科目6日間 ○会場 神戸、姫路 等 参加者 R 3:延べ325人(うち神戸市64人) R 2:延べ536人(うち神戸市86人) R 1:延べ397人(うち神戸市162人) | 無料 | 5,000円 |
| | ②育成財団主催研修 ○中堅児童厚生員等研修会 ○全国児童厚生員等指導者養成研修会 ○児童厚生一級特別セミナー 他 | 割引有 優先参加 | — |
| 「学び合い」 職員の資質向上 | ○遊びのプログラム開発事業 H31～R2の3年間、厚生労働省からの委託を受けて育成財団が主催する研修について、県立こどもの館がリーダーシップをとって、テーマに沿った遊びのプログラムを企画・開発してきた。→「まとめ」を各施設で活用 | 旅費・宿泊費 全額支給 ※各市町一人まで | — |
| 「表彰」 良い人材の確保 | ①全国表彰 (R3:3人 R2:6人 R1:1人) ※神戸市実績 R2:1人、H29:5人 〈受賞者へガラス製表彰盾〉 ②県表彰 (R3:10人 R2:9人 R1:5人) ※神戸市実績 R3:6人、R2:7人、R1:1人 〈受賞者へ記念品(県名産品) R3:丹波焼〉 | ○ ○ | — — |
| 「情報共有」 | ① 育成財団からの各種案内 ② 厚生労働省からの情報共有 ③ 育成財団情報誌(年4回)・育成財団書籍等割引 ④ 国への要望、意見書 | ○ ○ ○ ○ | — — — — |

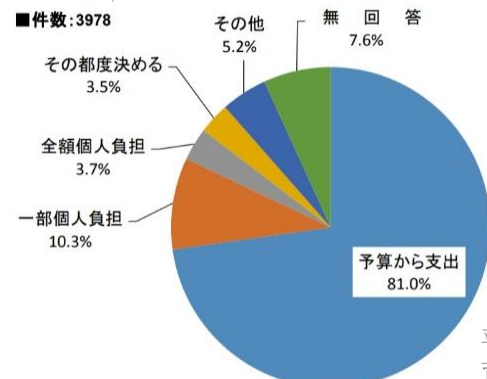
児童館数の推移(公営・民営別)



児童館職員が職場以外で参加する研修の平均回数



職場以外での研修参加にかかる経費の負担



ネットワークづくり

| | |
|-------------|---|
| 県内ネットワーク | ○情報交流会 ○県児連HP ① 県内の多様な取組にふれることができる。 ② 専門家からの意見を取り入れることができる。 ③ 市町が協働することにより、ネットワークを構築できる。 |
| 県を越えたネットワーク | ○全児連(41県児連、4政令市児連加入) ① 全国の児童館ネットワークの構築 ② 厚生労働省への、全国の児童館の要望 ③ 情報交換による、各児童館の取組のブラッシュアップ ④ 各児童館の取組を全国へ発信 |

